

令和4年度草の根文化無償資金協力

「アルメニア使徒教会付属博物館保存修復室機材整備計画」贈与契約署名式の実施

2023年3月17日、アルメニア使徒教会総本山のルベン・セヴァク博物館で令和4年度草の根文化無償資金協力「アルメニア使徒教会付属博物館保存修復室機材整備計画」の贈与契約署名式が行われました。

本署名式には、福島正則駐アルメニア日本大使、ナタン・ホヴァニシヤン大司教、アソギク・カラペチャン神父(博物館長)、ヤコビヤン AGBU アルメニア基金代表が出席しました。

この草の根文化無償資金協力は90,767米ドルを供与限度額として、アルメニア使徒教会付属博物館に必要な機材を整備することにより、同博物館が所蔵している文化遺産の保存・修復に貢献するものです。本プロジェクトの実施により、現在保管されている文化遺産が保存・修復されれば、より多くの文化財が一般公開されるようになります。また、本件を通じて、専門家の育成や伝統・文化に関する教育の推進、ユネスコ世界遺産として登録されているエチミアジン大聖堂来訪者がこれまで以上に同博物館にも足を運ぶようになることが期待されます。

式典において、カラペチャン博物館長は出席者を歓迎するとともに、日本政府への謝意を表明しました。その後、福島大使及びヤコビヤン代表がスピーチを行い、プロジェクトの成功に向けた期待を表明しました。また、ホヴァニシヤン大司教は、スピーチにおいて、アルメニアと日本が文化に対して抱いている情熱や尊敬の念、アララト山と富士山、アプリットと桜の木といった両国を結び付ける象徴につき強調しました。

スピーチ後には、カラペチャン博物館長立ち会いの下、福島大使とヤコビヤン代表が贈与契約への署名を行いました。



福島大使によるスピーチ



ヤコビヤン代表によるスピーチ



ホヴァニシャン大司教によるスピーチ



福島大使とヤコビヤン代表による
贈与契約署名



関係者による記念撮影



地元メディアからインタビューを受ける
福島大使



式典冒頭の様子



ホヴァニシャン大司教と福島大使との
懇談の様子